

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	2853
部 名	環境事業部	課 名	ごみ減量推進課	課長名	江成 博
事務事業名	集団資源回収事業				
予算上の事務事業名	集団資源回収事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施 策 名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市集団資源回収事業奨励金交付要綱 相模原市集団資源回収事業補助金交付要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
資源の有効利用とごみの減量化を推進するとともに、「物を大切に作る心」を育成するために行う集団資源回収事業を支援する。			(奨励金) 集団資源回収実施団体 (補助金) 集団資源回収業者団体		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
子ども会等市内の地域団体が自主的に行っている集団資源回収を奨励、支援する。 (実施団体) ・ 交付単価 4.0円(子ども会4.5円) ・ 登録団体数 371団体 ・ 奨励金(見込み) 32,642千円 (業者2団体) 相模原環境・資源リサイクル協同組合、相模原資源リサイクル協議会 ・ 交付単価 4.6円/kg ・ 登録業者数 2団体(35業者) ・ 補助金(見込み) 34,695千円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
集団資源回収事業は行政による資源分別回収事業を含めたりサイクルシステム全体の中で捉えられるもので、制度間の比重の置き方・沿革が自治体により異なり、一律の比較は困難である。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	67,696	68,757	67,741	69,265	69,265
一般財源	67,696	68,757	67,741	69,265	69,265
受益者負担金					
その他の特定財源					
人件費の合計					
事業コスト合計(a)	67,696	68,757	67,741	69,265	69,265
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	集団資源回収事業			対象名称 (単位)	回収量(t)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	67,381	67,718	67,337	69,265	69,265
対象数	7,374	7,680	7,637	8,000	8,000
単位あたり経費(円)	9,138	8,817	8,817	8,658	8,658
前年度比		0.96	1.00	0.98	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	集団資源回収実施回数伸び率	指標式と指標の説明 (今年度実施回数/前年度実施回数) × 100			
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	101.0	101.0		
目標	100.0	101.0	101.0	101.0	101.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	集団資源回収量伸び率	指標式と指標の説明 (今年度資源化率/前年度資源化率) × 100 資源化率 = (集団資源回収量/家庭系ごみ量) × 100			
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	94.6	102.4	103.7		
目標	101.0	101.0	101.0	101.0	101.0
目標達成度	93.7	101.4	102.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		事業そのものは良好に運営されている。従って現状維持の評価をしたが、昨年度末に、団体奨励金の見直し及び定期的な事業者補助の見直しを政策決定したところであり、適宜適切に見直しすべきである。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 制度の周知			14 課題として認識されたこと 奨励金及び補助金の見直し		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			